

灘 区 会

灘区会 便り

灘区会長 国-8 福田 望

灘区会員の皆様、お元気ですか！

冬眠から覚めて、やっと動き始めます。アツという間に四月に入り桜の季節を迎えましたが花冷えで桜の開花が一時停まったような寒さでした。早春賦の歌詞のように“春は名のみ風の寒さや”でした。

さて、三月は巣立ちの月で私の母校摩耶小学も卒業式があって同窓会の役員で出席してきましたが、68年前の日米開戦の年に私は卒業ですから遙かな昔で、仰げば尊し、蛍の光の時代、正に隔世の感を覚えました。それでも今日の卒業風景もジョンとくるものがあって昔も今も心は変わらない

長 田 区 会

Y君の卒業式

長田区会 松本 治司

平成21年3月24日神戸市の小学校で一斉に卒業式が行われた。

2年間私達と一緒に学んだ彼も、その日N小学校を卒業した。胸に赤いリボンを付け、校長先生から卒業証書を頂いた彼は、6年間学んだ仲良し学級に別れを告げた。

式の途中、何時もの様に動き回らないか、また走り回らないか、そんな私達の心配をよそに、彼は一時間余りをよく耐えた、そして立派に卒業式を終えた。見ていて胸が熱くなった。

2年前だった、学習支援で初めて「仲良し学級」の教室に入ったとき、彼は布団で横になっていた、私が声を掛けると、立ち上がってボールを私に投げつけてきた。それが彼との出会いで彼の挨拶だった。

言う事を聞かない彼には苦労した。勉強中は殆ど机に座らない、教室に貼っている紙を破る、落書きをする、物を壊す、そんな毎日が続き、勉強の出来る雰囲気ではなかった。

体操の授業では、何時の間にか居なくなり、校舎の回りで彼を捜している間に授業が終わる。ボールをわざとプールに投げ入れる。また音楽の時間では、演奏の途中でドラムを叩いてよく怒られた。仲良し学級の教室では下級生を虐めて先生に怒られる。そんな毎日が続いた。

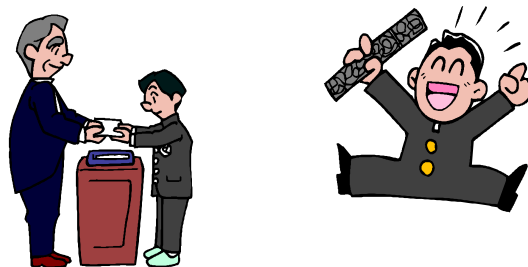
なあーと実感した次第です。

もうひとつ、思い出深い体験を紹介します。ごく最近のことですがグループわの事務方から連絡があって、灘区の六甲ケーブル駅下にある神戸市立ひまわり学園の幼児と山歩きをするボランティアの依頼がありました。ここは心身障害児を保育する学園で昨年の秋頃から活動を始めこの三月にお別れ会がありました。お母さんたちは我が子を学園に預けている間に家事の仕事やパートで働くなど大変だろうと思いますが異口同音に足腰の強い子になりました・・・と学園の存在に感謝されていました。まだ短い活動期間でしたが、私も自分自身の健康を確認するためにも続けるつもりです。この4月15日に対面式があって新しいスタートを切ります。この体験の話は灘区会員の方にも伝えて、グループわの活動に広げてゆきたいと思っています。

学習支援の難しさを痛感しながら1年が過ぎた。しかし、6年生になってから彼の行動に変化が見られるようになった。机に座る時間も増え、算数は苦手だったが、私に国語の教科書を読んで聞かせてくれる事もあった。

この2年間彼との思いでは沢山ある。苦労もした、しかし私は彼の素直な性格が好きだった。朝には笑顔で迎えてくれる、帰りには「有り難う」と言ってみ送ってくれた。

彼は、中学では養護学校には行かなかった。これからは苦労も多いと思うが、幸せな中学生生活を送って欲しいと思う。



ボランティア保険Q&A

平成21年度からボランティア保険は、兵庫県ボランティア活動保険に変わりました。

保険の対象、手続き、他の保険との関係等々、「グループわの保険への取り組み」「会員・非会員の保険適用早見表」「申請の手引」を一冊にまとめ、本誌に同封しておりますので、御覧ください。